




スコラ★タイムヒル  
 <<講師の先生～ご紹介>>

講師名	ご略歴	主要著訳書				
<p>日下部 吉信 先生</p>  <p>【講義日】                      9月11日(火)                      9月18日(火)                      9月25日(火)                      10月2日(火)</p>	<p>立命館大学大学院文学研究科                      博士課程修了 博士(文学)                      立命館大学助教授、教授、特任教授                      ケルン大学・トマス研究所客員研究員                      オックスフォード大学 オリエル・カレッジ客員研究員                      現在、立命館大学名誉教授</p>	<p>単著 『西洋古代哲学史』(昭和堂 1981年)</p> <p>単著 『ギリシア哲学と主観性』(法政大学出版局 2005年)</p> <p>単著 『初期ギリシア哲学講義・8講』(晃洋書房 2012年)</p> <p>単著 『プラトニズム講義・4講』(晃洋書房 2012年)</p> <p>単著 『アリストテレス講義・6講』(晃洋書房 2012年)</p> <p>単著 『ヘレニズム哲学講義』(晃洋書房 2013年)</p> <p>単著 『ハイデガーと西洋形而上学』(晃洋書房 2015年)</p> <p>翻訳 A. トレンデレンブルク『カテゴリー論史』(松籟社 1985年)</p> <p>翻訳 K. ボルマン『パルメニデス—断片の研究—』(法政大学出版局 1992年)</p> <p>編訳 『初期ギリシア自然哲学者断片集』①②③(筑摩書房・ちくま学芸文庫)</p> <p>翻訳 E. ハッセイ『プレソクラティクス』(法政大学出版局 2010年)</p>				
		<p>小川 侃 先生</p>  <p>【講義日】                      9月13日(木)                      9月20日(木)                      9月27日(木)                      10月5日(木)</p>	<p>京都大学大学院文学研究科                      博士課程修了 博士(文学)                      京都大学大学院地球環境学、                      および人間・環境学研究所両任教授                      人間環境大学学長                      甲子園大学学長                      ケルン大学客員研究員                      ドイツ連邦共和国                      アレクサンダー・フォン・フンボルト財団奨学研究員                      イタリア哲学研究所(ナポリ)客員教授                      カールスルーエ大学教授資格試験審査官                      現在、ヒルデスハイム大学客員教授、                      豊田工業大学非常勤講師</p>	<p>単著 『現象のロゴス 構造論的現象学の試み』(勁草書房 1986年)</p> <p>単著 『現象学と文化人類学 文化の多元論を越えて』(世界書院 1989年)</p> <p>単著 『現象学と構造主義 対決と調和』(世界書院 1990年)</p> <p>単著 『自由への構造 現象学の視点からのヨーロッパの政治哲学の歴史』(理想社 1996年)</p> <p>単著 『風の現象学と雰囲気』(晃洋書房 2000年)</p> <p>単著 『Grund und Grenze des Bewusstseins』(Koenigshausen und Neumann 2001)</p> <p>単著 『Machiavelli e La Fenomenologia』(Napoli 2003)</p> <p>単著 『環境と身の現象学 環境哲学入門』(晃洋書房 2004)</p> <p>単著 『Essen und Wissen, Muenchen』(Iudicium Verlag 2008)</p> <p>単著 『ニコロ・マキアヴェッリと現象学 ～彼の汚名をすすぐ～』(晃洋書房 2015年)</p> <p>共著 『世界・地平・雰囲気 構造存在論と「新しい現象学」の視点からの研究』(多賀出版 1997年)</p> <p>共著 『新現象学運動』&lt;梶谷真司共編&gt;(世界書院 1999年)</p> <p>共著 『生命と環境』&lt;津田謙輔共編&gt;(京都大学学術出版会 2000年)</p> <p>共著 『雰囲気と集合心性』(京都大学学術出版会 2001年)</p> <p>共著 『京都学派の遺産—生と死と環境』(晃洋書房 2008年)</p> <p>翻訳 『現代哲学の根本問題 第8巻』&lt;新田義弘共編&gt;(晃洋書房 1978年)</p> <p>翻訳 『身体と感情の現象学』&lt;ヘルマン・シュミッツ&gt;(産業図書 1986年)</p> <p>翻訳 『現象学の最前線 古代ギリシア哲学・政治・世界と文化』&lt;クラウス・ヘルト&gt;(晃洋書房 1994年)</p> <p>翻訳 『Interkulturelle Philosophie und Phaenomenologie in Japan, hrsg. von Tadashi Ogawa, Michael Lazarin und Guido Rappe, Muenchen』(Iudicium Verlag 1998)</p>		
				<p>轟 孝夫 先生</p>  <p>【講義日】                      9月19日(水)                      9月26日(水)                      10月3日(火)</p>	<p>東京大学大学院人文社会系研究科                      博士課程修了 博士(文学)                      防衛大学校人間文化学科専任講師、准教授                      ミュンヘン大学客員研究員                      現在、防衛大学校人間文化学科教授</p>	<p>単著 『存在と共同——ハイデガー哲学の構造と展開』(法政大学出版局 2007年)</p> <p>単著 『ハイデガー『存在と時間』入門』(講談社現代新書 2017年)</p> <p>共著 『ハイデガーの技術論』&lt;加藤尚武編&gt;(理想社、2003年)</p> <p>共著 『Heidegger und das ostasiatische Denken, Heidegger-Jahrbuch 7』(Verlag Karl Alber 2013)</p> <p>共著 『Kitarō Nishida in der Philosophie des 20. Jahrhunderts, hrsg. von Rolf Elberfeld, Yoko Arisaka』(Verlag Karl Alber 2014)</p> <p>共著 『ハイデガー読本』&lt;秋富, 安部, 古荘, 森編&gt;(法政大学出版局 2014年)</p> <p>共著 『Hermeneutik der Schwarzen Hefte, Heidegger-Jahrbuch 11』(Verlag Karl Alber 2017)</p> <p>翻訳 『世界内存在—『存在と時間』における日常性の解釈学』&lt;門脇俊介監訳&gt;(産業図書 2000年)</p>